

<「Art Platform Japan」立ち上げの背景>

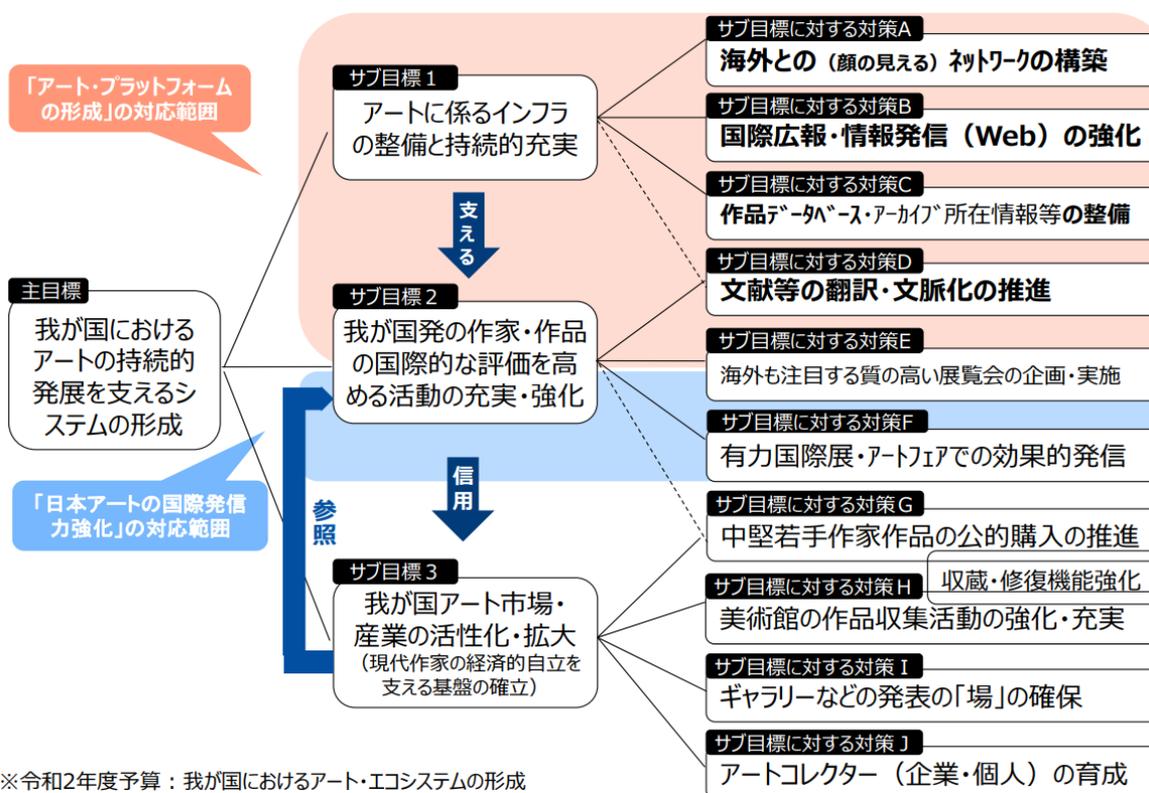
「文化庁アートプラットフォーム事業」は、日本における現代アートの持続的発展を目指し、現代アート関係者の意見を幅広く集約し、日本人及び日本で活動する作家とその作品が国際的な評価を高めていくための取組等を推進するものです。ステアリングコミティーとして「日本現代アート委員会」（座長：片岡真実 森美術館館長）を設置し、実践的研究を進めるための国際的な専門家ネットワーク構築に取り組むとともに、日本における現代アートに関する重要なテキストの翻訳や全国の美術館を横断した作品情報のデータベース構築、ウェブサイト等を活用した国内外への発信に向けた取り組み、若手作家を含めた日本におけるアーティストの国際な活動を後押しする活動を行います。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/artplatform/index.html

「日本はこれまでも、国際的にも評価の高い優れたアーティストを輩出してきており、特に戦後は、欧米に次いで多数の作家と作品を重層的に生み出してきましたが、日本の現代アートの価値付けや評価は、長らく欧米からの逆輸入という形で行われてきました。日本の現代アートを取り巻く現場は、作家や美術館、研究者、キュレーター、ギャラリスト、コレクターなどの関係者・関係機関が個別に努力し支えてきましたが、それら関係者の活動を全体的に把握し、必要な情報発信を行ったり戦略に基づいた支援を行うことができなかったため、資金調達や、人材育成等様々な面で、限界や不都合が生じているのが現状でした。」（平成 26 年 10 月「現代美術の海外発信について「論点の整理」」より、一部抜粋・要約）

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/gendaibijutsu_kaigaihashin/pdf/kentokai_ronri.pdf

そのような歴史を背景に、文化庁アートプラットフォーム事業は 2018 年 5 月始まりました。本事業では、様々な立場の現代アート関係者の意見を反映することを重視しています。以下の個別の課題とその克服に向けた複合的な動きを通して、世界における現代日本アートの評価向上に資するためのアート・エコシステムの形成に向けた役割や機能を担うことを目指しています。



本ウェブサイト公開にあたり、日本現代アート委員会委員の談話を記載します。

片岡真実（森美術館長／日本現代アート委員会 座長）

現代アートがグローバルな共通言語となり、国や地域の枠組みを越えた美術館活動、研究、制作などが行われている今日、国内におけるさまざまな芸術活動にも、それらがいかに世界や歴史と繋がっているのか、という意識が求められています。日本の現代美術の持続的発展、国際的な評価の拡大などを目的に、日本現代アート委員会では、2018年度より、積年の課題だった国内美術館収蔵品のバイリンガル・データベース化、主要文献の翻訳、人的ネットワーク構築のためのワークショップなどに取り組んで参りました。その成果を世界に向けて可視化するプラットフォームとして、この度、ウェブサイト「Art Platform Japan」がローンチされたことは、目指すところの第一歩です。今後、このサイトが継続的に更新され、物理的な渡航の有無に関わらず、日本の現代アートをこの広い世界、長い歴史と接続し続けていくための重要な基盤となることを心から願っています。

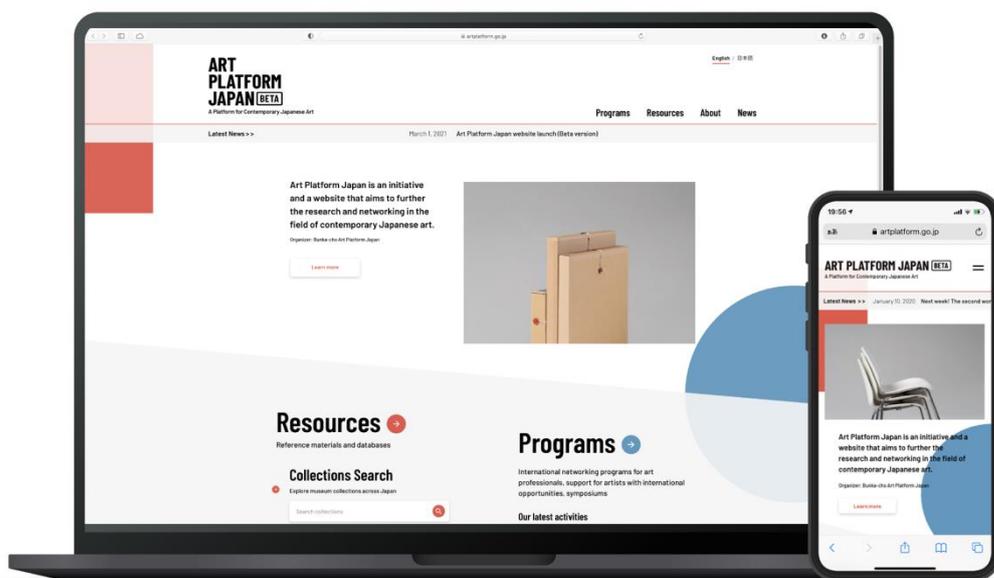
大向一輝（東京大学大学院人文社会系研究科 准教授／収蔵情報活用分科会 委員）

組織横断型のデータベースを構築する際には、データ整備の体制作りと品質の確保が大きな課題になります。全国美術館収蔵品サーチでは、各美術館の継続的なご尽力によって作成されたデータを、本事業に関わる専門家が自ら汗をかいて整理することで、統合的な処理が可能になっています。これにより、システム全体の構成がシンプルになり、短期間でのサービス提供につながるとともに、中長期的なデータの拡充についてもコスト面での予測が容易になりました。また、検索機能のスピードが速い点は高く評価したいと思います。多様な収蔵品情報をさまざまな観点から探索できる環境から、新たな利活用の取り組みが生まれることを期待します。

加治屋健司（東京大学大学院総合文化研究科 教授／日本現代アート委員会 委員）

現代アートは、グローバルな状況の中で制作、展示、研究される機会が増えています。日本の現代アートもまた、その歴史的な作品も含めて、こうした状況の中で注目を集めて議論の対象となりつつあります。国内美術館の収蔵品のデータベース、日本語で書かれた重要な文献、そして、日本の現代アートに関する様々な基本情報を英語で提供したり、海外の専門家を交えて議論を重ねたりすることは、日本の現代アートの制作、展示、研究を活性化して豊かにしていくものと考えます。こうした事業に持続的に取り組むことで、日本の現代アートが、その歴史や言説とともに、世界の現代アートとして評価されていくことを期待しています。

<ウェブサイト「Art Platform Japan」の主なページ>



Art Platform Japan トップページ

全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」：検索結果の例

全国の登録博物館，博物館相当施設等のご協力を得て収集した美術館収蔵品データを様々な条件で検索可能。

The screenshot shows the search results for 'painting' on the ART PLATFORM JAPAN website. The search results are displayed in a table with columns for artist name, title, year, and medium. The first three results are:

Artist	Title	Year	Medium
堂本尚部 DOMOTO, Hisao	絵画 Painting	1967	oil on canvas/framed
小林正人 KOBAYASHI, Masato	画く力 Painting	1994	oil on canvas
清川泰次 Taiji KIYOKAWA	Painting No.427980	1979-80	Acrylic on canvas

The screenshot shows the search results for 'painting' in Japanese on the ART PLATFORM JAPAN website. The search results are displayed in a table with columns for artist name, title, year, and medium. The first three results are:

Artist	Title	Year	Medium
堂本尚部 DOMOTO, Hisao	絵画 Painting	1967	油彩画布
小林正人 KOBAYASHI, Masato	画く力 Painting	1994	油彩、キャンバス
清川泰次 Taiji KIYOKAWA	Painting No.427980	1979-80	キャンバス、アクリル

全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」：詳細検索画面

The screenshot shows the detailed search form on the ART PLATFORM JAPAN website. The form includes fields for API ID, Classification, Artist, Title and Series, Year, Medium, and Dimensions/Duration. The search button is labeled 'SEARCH'.

The screenshot shows the detailed search form in Japanese on the ART PLATFORM JAPAN website. The form includes fields for API ID, 分野 (Classification), 作家名 (Artist), 作品名およびシリーズ名 (Title and Series), 制作年 (Year), 材質、技法 (Medium), and 寸法、寸法等 (Dimensions/Duration). The search button is labeled 'SEARCH'.

Texts ページ

戦後美術を対象とした未英訳のテキストを英訳・PDF で公開。

The screenshot shows the Texts page on the ART PLATFORM JAPAN website. The page features a list of text entries with columns for title, author, and date. The first two entries are:

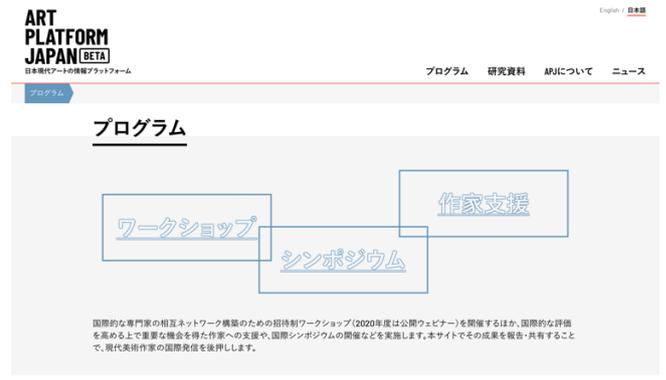
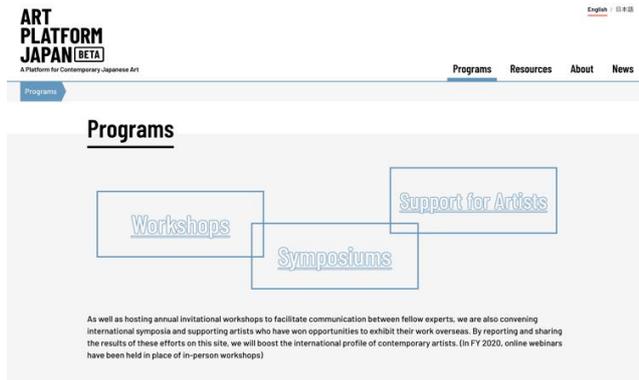
Title	Author	Date
Fiction Function! World Stakes/History Shares: A Rule Book for the World History Game (1991)	Okazaki Kenjich, Takaki Hidetaki, Sawaragi Noj	Posted: 2021-03-01
Air and Water (1970)	Nakaya Fujiko	Posted: 2021-03-01

The screenshot shows the English Literature page on the ART PLATFORM JAPAN website. The page features a list of text entries with columns for title, author, and date. The first two entries are:

Title	Author	Date
FICTION FUNCTION! 世界の賭金・歴史の配当 世界史ゲームのためのルール・ブック (1991)	岡崎健二氏, 岡崎英明, 榎本野衣	更新: 2021-03-01
空気と水 (1970)	中野英二子	更新: 2021-03-01

Programs ページ

本事業で開催したプログラムのアーカイブを順次掲載。



Latest Events



August 2020 - January 2021

Bunka-cho Art Platform Japan Webinar Series: Contemporary Art After the Coronavirus and Its Ecology

Due to the current coronavirus epidemic, immense challenges have been posed to both arts institutions and contemporary art professionals across the globe. By sharing the numerous issues being tackled by insurmountable parties globally that the pandemic has raised, this program aims to discuss and exchange both concrete and speculative ideas regarding the global dissemination of the arts in the post-pandemic era. The program also aims to cover the constructive research into the most potentially suitable forms of future international exhibitions for arts institutions. *Archived videos and transcripts (Japanese and English) are in preparation.

[Bunka-cho Art Platform Japan Webinar Series](#)

2019



September 11, 2019 symposium

The Globalization of the Art World and "Japan": Outlook into the current state and the future

Focusing on measures to promote contemporary art, "Bunka-cho Art Platform Symposium" aims to bring together people involved in contemporary art to share what is happening on the global front and to deepen discussions on why a platform for contemporary art is needed in Japan, what needs to be done to achieve this, and what possibilities can be explored.

[Bunka-cho Art Platform Japan Symposium](#)

Keywords: Globalization, Hayashi Michio, Hisaburo Tsuyoshi, Saito Takayuki, Katsuka Rieki, Katsuyama Mari, Taguchi Naoe

March 16, 2019 symposium

How to Effectively Carry on Art Assets into the Future: Proposals for Legal and Institutional Design for a Collecting Culture

From the standpoint of protecting, increasing Japan's art collection and making the most of it for society, panelists discussed specific measures to increase the value of cultural and artistic assets, including legislation, the development of a full-time cooperation system for museums, tax reform and the fostering of a culture of collectors, the exchange and rental of works between museums and collections, and the importance of publicizing related archives.

[Bunka-cho Symposium](#)

Keywords: Nagano Hiroaki, Inaki Kikaku, Kikuchi Tsukasa, Komatsu Junya, Kuroki Tomoko, Tachibana Akira

2018

November 30, 2018 symposium

Passing on Artistic Assets to Future Generations through "Evaluation": The Expected Role of Art Museums

Speakers were invited from various fields, including economists, art historians, and architects, as well as those involved in art museums, to discuss the importance of utilizing cultural and artistic assets, measures to raise the value of such assets, and the state of art museums from various perspectives.

[Bunka-cho Symposium](#)

Keywords: Asagiri Masamichi, Inasaki Koki, Kijima Kenji, Nawa Kohji, Shikayama Kenta, Tate Tsuyoshi, The Assessment of Artistic Assets

最新のイベント



2020年6月～2021年1月

文化庁アートプラットフォーム事業 連続ウェビナー「コロナ以降」の現代アートとそのエコロジー

本プログラムでは、世界各地の美術界および現代アート関係者にも多大な影響をもたらしているコロナ禍という状況下において、様々な立場の当事者が対峙している現状の課題を通じて、どのような問題や可能性を明らかにすることができるか、といった具体的なアートプラットフォームの発展やポストコロナ時代の芸術界のあり方や将来の共同研究、若い時代にふさわしい国際的な展覧会のあり方を視野にいれた議論へとつなげました。本アーカイブ動画および書籍化し、本サイトでは準備中です。

[文化庁アートプラットフォーム事業 連続ウェビナー](#)

2019



2019年9月11日 シンポジウム

グローバル化する美術界と「日本」：現状と未来への展望

現代アートの展覧機会に際し、文化庁アートプラットフォーム事業が果たすべき役割をテーマとした「文化庁アートプラットフォームシンポジウム」で、現代アートの関係者が思い、グローバルの最前線から起きていることを共有しながら、なぜ日本において現代アートのプラットフォーム形成が必要なのか、そのために何をすべきなのか、どのような可能性が期待できるのかについて、議論を交わす機会に開催しました。

[文化庁アートプラットフォームシンポジウム](#)

Keywords: Globalization, Hayashi Michio, Hisaburo Tsuyoshi, Saito Takayuki, Katsuka Rieki, Katsuyama Mari, Taguchi Naoe

2019年3月16日 シンポジウム

芸術資産をいかに未来に継承発展させるかーコレクター文化育成のための法律・制度設計の具体的提言ー

日本の美術コレクションをまじり、増やし、社会にまきこいていくという観点から、文化・芸術資産の価値評価をとおしての長期的な方策について、芸術家や美術関係者の意見、税制改正及びコレクター文化の育成、美術館やコレクション間の所蔵作品交換やレンタル、関連アーカイブ公開の重要性などを中心に、議論を交わす機会に開催しました。

[文化庁芸術シンポジウム](#)

Keywords: Nagano Hiroaki, Inaki Kikaku, Kikuchi Tsukasa, Komatsu Junya, Kuroki Tomoko, Tachibana Akira

2018

2018年11月30日 シンポジウム

芸術資産「評価」による次世代への継承ー美術館に期待される役割ー

文化、芸術資産の活用と重要性、そしてその価値評価をとおしての長期的な方策、美術館の在り方等に関して、美術関係者のみならず、経済学者、美術史家、建築家など多岐分野からスピーカーを招き、様々な立場から議論しました。

[文化庁芸術シンポジウム](#)

Keywords: Asagiri Masamichi, Inasaki Koki, Kijima Kenji, Nawa Kohji, Shikayama Kenta, Tate Tsuyoshi, The Assessment of Artistic Assets

[Suggest edits for this page](#)

[このページの修正を提案する](#)

<本件に関する報道関係お問い合わせ先>
文化庁アートプラットフォーム事業 PR 担当 島林
TEL : 080-6589-1234 FAX : 03-6734-3816
E-mail : press@bunka-artplatform.jp